

第1回 桐生市総合計画審議会 議事要旨

○日 時 平成30年10月24日(水) 午後3時00分～午後4時55分

○場 所 桐生市役所 2階 正庁

○出席者 24名

【審議会】15名

会 長：群馬大学大学院理工学府 特任教授	宝田 恭之
副会長：桐生市総合教育会議 教育委員	新居 理恵
委 員：桐生商工会議所 会頭	山口 正夫
桐生市農業委員会 会長	鎌塚 大作
桐生市区長連絡協議会 副会長	田所 武男
きりゅう市民活動推進ネットワーク 代表	近藤 圭子
桐生市社会福祉協議会 副会長	塚田 征子
桐生市子ども・子育て会議 会長	尾花 悦子
桐生市医師会 理事	鈴木 康郎
桐生市まちづくり検討委員会 委員	金井 昌信
桐生市婦人団体連絡協議会 会長	鈴木 英子
新里地域懇談会 会長	松島 孝三
黒保根地域懇談会 会長	金子 敬
公募市民	奥村 千鶴子
公募市民	河村 英輝

(欠席者)

委 員：桐生市環境先進都市将来構想推進協議会 委員	佐羽 宏之
桐生青年会議所 副理事長	葉山 勇

【桐生市】8名

市長	亀山 豊文
<事務局>副市長	鳥井 英雄
桐生市総合政策部長	和佐田 直樹
桐生市総合政策部企画課長	田島 規宏
桐生市総合政策部企画課企画担当係長	金子 英雄
桐生市総合政策部企画課企画担当	藤野 千絵
桐生市総合政策部企画課企画担当	小松 直也
桐生市総合政策部企画課企画担当	村田 健太

【計画策定支援事業者】1名

株式会社ぎょうせい

【傍聴者】なし

【報道機関】2社

○会議内容

1 開会 [開始：午後3時00分]

2 委員の委嘱

- ・亀山市長より委員へ委嘱状を交付。

3 市長挨拶

- ・亀山市長より挨拶。

4 自己紹介

- ・委員及び事務局、計画策定支援事業者自己紹介。

5 会長及び副会長の選出

- ・委員の互選により、会長に宝田委員を選出。
- ・会長の指名により、副会長に新居委員を選出。

6 諮問

- ・亀山市長より審議会（会長）へ諮問。

7 議題

- ・議事に入る前に、事務局より、過半数以上の委員の出席により会議が成立することを報告。
- ・議事進行は、桐生市総合計画審議会規則第4条の規定により、会長が議長として行う。

(1) 「(仮称) 次期桐生市総合計画」の策定について

- ・資料1及び2に基づき、事務局より説明。
- ・意見、質疑応答は以下のとおり。

会長	総合戦略で決めてこちらに重点施策として載せていくというのは良いやり方だと思うが、総合計画のほうでもそれ以外に、重点的なものを提案するようなこともあるのか。それとも全部戦略のほうに任せてしまうのか。
事務局 (企画課長)	現行の新生総合計画においては、重点施策ということで12の項目が列記されている。イメージとすると、この12の項目全てを総合戦略の項目とするということではなくて、その内に総合戦略の項目を含めて、そのほか総合計画として独自の重点施策の項目を並行して検討していただくというイメージである。
委員	総合戦略が重点項目の中で大きく係わると思う。総合戦略の資料も多いと思うがそうした資料がしっかりと手元にないと、この会議の中でも合わせて見ながら関連させていかないといけないということなので、総合戦略の資料は同じように配布してもらえるのか。
事務局 (企画課長)	そうしたご意見をいただいたので、この後、総合戦略推進委員会が開催されるが、そちらにこのような意見があったということを伝えた上で、適宜、そうした資料を用意できるように検討していきたい。

会長	連携というのはなかなか難しいかもしれない。十分、資料と意思の疎通を図りながらやっていきたいと思う。よろしくお願ひしたい。
委員	名称のところが仮称ということだが、想定としているのはもしかすると、私の記憶だと足利市や長久手市などだと、よく住民や子供たちが参加して仮称を決めたり、総合計画の名称を決めたりしているが、そういったことを想定しているのか。
事務局 (企画課長)	名称案もそうだが、決定する方法についても現時点では全く腹案を持っていない。名称を決定する方法についても、ご意見等あれば伺っていききたい。
会長	総合戦略と連携しながら総合計画を策定していくわけだが、市が抱えている審議会や委員会で、総合計画に影響するようなものは他にもいくつかあるのか。
事務局 (企画課長)	行政は幅広い分野を担当しているが、全ての分野のもととなる最上位の計画が総合計画ということになる。計画ができるできないという時間の前後はあるが、常に各分野の計画はこの総合計画を意識して作るということになるかと思う。現在各分野で動いている主なものという表現が正しいかわからないが、例えば、環境先進都市将来構想であるとか、コンパクトシティ計画（立地適正化計画）といったものが市の大きな課題として影響している計画になるかと思う。
会長	特にコンパクトシティ計画（立地適正化計画）などは関連が強いので、なるべくうまく情報交換しながらやっていきたいと思う。
委員	次期の総合計画にしても総合戦略にしても、従来積み残しているものをまた入れるのか入れないのかということがあるかと思うが、そのあたりについてはどう考えているのか。
事務局 (企画課長)	現在、基礎調査の中で、現行の新生総合計画における達成度というか進捗度の総括をやっていきたいと考えている。その結果をこの審議会にも報告させていただくので、その中でこの分野、施策は引き続き取り組んだほうが良いだろうという意見があれば、当然次の計画にも盛り込んでいくということになると思う。

(2) 「(仮称) 次期桐生市総合計画」策定に向けた取り組み状況について

- ・資料3及び4に基づき、事務局より説明。
- ・意見、質疑応答は以下のとおり。

委員	人口の関係だが、2010年から2015年の国勢調査で、昔ちょっと見たことがあるが、たしか男性の20～24歳が転入超で増えていて、女性は20代、30代くらいが転出超というかたちになっていると思う。このあたりが次期
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>の計画の中で最大の課題、子育て世代がいかに住みやすいかどうか、人気を博すような場所になっていくということが重要になってくると思う。</p>
<p>事務局 (企画課長)</p>	<p>全くそのような認識を持っている。そうした認識のもと、桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略においても、若い人、特に女性、子育て世代の定着を大きな課題と捉えており、課題解決に向けた各種施策に取り組んでいる。先ほどご意見があったように、総合戦略も4年目となり、残り1年となっているので、施策の成果などを検証していく中で、そうした対策の強化の必要があるかどうかとも検討していきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>市民提言や市民意識調査など、市民の意見も集計、分析中だと思うが、審議会においてそうした意見をどのように取り扱っていくのか。</p>
<p>事務局 (企画課長)</p>	<p>アンケート票を配布したので、後ほど見ていただきたいが、選択式で答えていただく以外に、自由意見を記入できる部分、あるいは自由意見そのものを募集する提言もいただいている。選択式の回答については統計的に集計した数値で示すが、自由意見については資料にはまとめるが生のままで審議会に示したいと考えている。その後、その意見をどの様に取り扱う、計画に反映していくかについては審議会で議論いただければと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほど、平成29年の国の調査において、SDGsに取り組んでいる自治体は全国でも1%くらいしかないという話があったが、達成すべき17の目標については、全体を見た中では桐生市に直接関連があるものもないものがあるので、桐生市の中で関わりのある部分、その項目だけでも取り込んでいければという認識でよろしいか。</p>
<p>事務局 (企画課長)</p>	<p>世界規模の目標となっているので、なかなか1自治体だけでは難しいという目標も含まれている。先ほど1%ということの説明があったが、それが平成29年度の全国状況ということかと思うが、現在、その後、SDGsは国を挙げてPRや周知が図られてきた中で、桐生市も先進的なほうではあるかと思うが、さらに踏み込んでSDGsに取り組んでいるモデル的な都市が国のほうで30くらい選定されている。そういったところに負けないうようにこれから勉強していく中で、市役所の中でもいろいろな部署にまたがることになると思うが、できる限り取り組んでいきたいと考えている。</p>
<p>副会長</p>	<p>市民意識調査の回収率が48.3%ということで50%を切っているが、これは48.3%も回収できたという認識なのか、48.3%に留まってしまったという認識なのか伺いたい。</p>
<p>事務局 (企画課長)</p>	<p>感覚に多少ずれがあるかもしれないが、我々の捉え方としては近年のアンケート調査においては、高い回収率であると考えている。見ていただくとわかるように設問数もかなり多いので、このあたりも回収率に影響が出てくるかということで、設問を設定する際にもかなり意識してどうなるかと注目していたが、事務局としては思った以上に回収率は高かったかなと思</p>

	<p>っている。</p> <p>ちなみに、現行の新生総合計画を策定する際、平成 18 年 7 月に同様の市民意識調査を実施したが、その際、同じく 2,000 票を発送した中で、有効回収数が 956 票で回収率が 47.8%ということで、10 年前より高い回収率となっている。</p> <p>10 万人以上の母集団の中で、信ぴょう性の高い回答を得ようとした場合には 400 票以上の有効回答数があれば、誤差が 5%以内に収まるという統計学の考え方があることから、900 票は十分その数を超えていると考えている。</p>
会長	<p>私もこの回収率は高いなと思った。</p> <p>先ほど基礎調査の詳しい説明があったが、基礎調査はこれで終わったということか。これからまだやることがあるのか。</p>
計画策定支援事業者	<p>基本的には、項目としてはいったんこのくらいかなというのはある。ただ、統計データについては毎年更新されるものがあるので、今回は来年度も計画策定の期間になっているので、そうしたデータについては更新していくことが考えられる。それから今後、何か重点的な取り組みを行おうとしたり、重点的な施策を検討する際にはそれに関連したデータについてはさらに深く掘り下げていくことが考えられると思う。</p>
会長	<p>先ほど 1 か所だけ全国との比較があったが、全国との比較があったほうがわかりやすいかなと思う。もちろん近隣も気になるが、それが全国的にどれくらいか、東京と比較するのはどうかと思うが、全国平均との比較。あとは世界とどう比較したら良いかをずっと考えていたが、桐生市とミラノ、桐生市とニューヨークとの比較とか。桐生はこれから世界に出ていこうという中で、県内だけ、周辺だけというのは私としては寂しいなと思う。確かにデータを見ていると特に桐生の財政状況などはなんとなく大変だなということはあるが、それは言ってみれば 20 世紀型の社会をつくるには厳しいかもしれないが、これから 21 世紀型の社会をつくるには特にそんなことは関係ないということになるかもしれないので、何かもうちょっと別のところからの比較がもしできたらお願いしたいと思った。</p>
事務局 (企画課長)	<p>今の意見をもとに、次回用意できるかはわからないが、可能なものは出していきたいと考えている。</p>

8 その他

- ・事務局より、次回の開催日程について事務連絡。

9 閉会 [終了 : 午後 4 時 5 5 分]